



園地の様子

経営概要

小川 加代

◆代表者・所在地

小川 加代 千葉県鎌ヶ谷市

◆経営規模

果樹 1 ha、直売所 1 か所

◆従業員数

常時雇用 1 名、パート・アルバイト 15 名

◆事業内容

果樹（梨、ぶどう、キウイ）の観光農園、直売所の経営に取り組む。

1 現状と相談までの経緯

労力不足に伴う管理作業の遅れ等により、収量や売上げが減少し、困っていた時に従業員候補となる農業大学校出身の人材を見つけたものの、**従業員の受入れ体制が整っておらず、採用に踏み切れなかった。**

こうした中、**日頃から付き合いのある普及指導員に専門家を含めた支援チームによる支援を紹介された。**

2 相談内容

雇用に当たってどのような手続及び配慮が必要なのかアドバイスを受け、雇用形態や条件について、当園の経営状況にあった条件を検討したい。

また、事業の性質上、仕事や収入時期が偏っているので、雇用を問題なく維持できるのかについてもアドバイスを受けた。

3 支援内容

■ 支援チームによる支援計画の策定

雇用導入に向け、**雇用の環境整備や経営者としての心構え**を身につけるための支援が必要であることから、**専門家による経営診断**を踏まえ経営戦略会議において雇用導入に向けた**支援チーム**を編成し、**支援計画等**を策定した。

■ 専門家派遣を通じた助言の実施

支援計画に基づき、経営専属スタッフと普及指導員が連携して、専門家との調整を実施した。

相談者及び従業員が良いパートナーシップを築けるよう、**社会保険労務士でもある中小企業診断士の専門家派遣**を通じて、**雇用導入に向けた支援**を行った。

・雇用費用シミュレーション （中小企業診断士）

直近の決算書を参考に、雇用を導入した場合の費用シミュレーションを実施したところ、雇用導入による固定費増を賄えることを確認した。

・雇用形態に関する助言（社会保険労務士）

時期ごとに必要となる労力を確認し、閑散期対策について助言を行った。また、雇用形態による違いについて説明を行った。

・雇用導入に向けた助言 （普及指導員・中小企業診断士）

従業員と良いパートナーシップを築けるよう、雇用導入に当たっての心構えについて助言を行った。

支援チーム構成員：

中小企業診断士（社会保険労務士資格を有する）、
普及指導員



雇用導入支援を行う支援計画を策定

■ 支援を受けて・・・

専門家の助言を参考に、従業員候補との面接を実施した。労働条件について直接話し合ったことで、雇用に向けた条件整備ができたことから、**令和5年4月より従業員を雇用し、必要な労働力が確保**できた。

■ 今後の経営展開

従業員の参画に伴い、キッチンカーを活用した加工品の販売事業を拡大し、更なる経営の発展を目指す。



従業員と一緒にの様子
(左：代表の小川氏、右：従業員)

喜びの声

どんな内容で、誰に相談したらいいのかわからなかったため、本当に助かりました。

研修で一般的な雇用に関する知識は得ていましたが、自身の経営の状況や悩み、困っていることに対して、専門家に細かく確認できたので、今後のイメージを描くことができました。

経験豊かな、多くの事例を知っている専門家に支援を受けることができ、具体的なアドバイスを聞いて良かったです。

専属スタッフ所感

家族経営における労力不足を解消するため、従業員の雇用に踏み出すことは、事業を継続・発展するために重要なステップですが、受入れ体制の整備や収益の確保が必要など、経営に大きな影響を与えるため、なかなか踏み出せない事例も多いと聞きます。

雇用導入後も、日頃付き合いのある普及指導員の支援に加え、引き続き、支援チームによる助言・支援をしていきたいです。

<支援機関> 千葉県農業経営・就農支援センター



千葉県農業者総合支援センター外観
(千葉県JA情報センタービル)

組織概要

■ 相談窓口

【経営・就農相談】 千葉県農業者総合支援センター
住 所：千葉県千葉市中央区本千葉町9-10
千葉県JA情報センタービル1階
電話番号：0880-800-1944
受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）
9：00～12：00 13：00～17：00

農業者や就農希望者からの相談に対しては、千葉県農業者総合支援センターに総合相談窓口を設置するとともに、経営関係は県担い手支援課及び各農業事務所、就農関係は前述の機関に加えて（公社）千葉県園芸協会、（一社）千葉県農業会議にも相談窓口を設置し、関係機関が連携して就農から定着、経営発展までのサポートを一貫して行います。